

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月17日	作成者名	山崎 康之	評価者名	小野 康平
-----	-------------	------	-------	------	-------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	中心となる課	都市整備部・まちづくり推進課
分野	02 市街地整備	関係課	都市整備部・都市計画課
施策	51 賑わいのある駅周辺市街地の形成		都市整備部・都市交通課
			都市整備部・道路管理課
			都市整備部・土地区画整理事務所
施策の目的	商業業務環境と緑のある住環境など、快適性と利便性に配慮した駅周辺市街地の形成を目指します。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	駅周辺建築物等整備事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
戸田駅東口駅前地区まちづくり事業進捗率	地区まちづくりに係るルール化プロセスにおける進捗率	%	100	15	15	15	15	15	15
地区まちづくり協定区域内行為届出における適合率	地区まちづくり協定の内容に適合した(適合件数/届出件数)	%	100	100	100	100	100	100	100
戸田公園西口駅前地区まちづくり事業進捗率	地区まちづくりに係るルール化プロセスにおける進捗率	%	100	15	30	47.5	65	70	85
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	戸田駅東口駅前地区については、区画整理事業の進捗に伴うまち並みの変化が予想されるが、まちづくりの将来像、目標、ルール等が定められていない。 北戸田駅及び戸田駅西口駅前地区については、土地区画整理事業により、新しい建築物の建設が見込まれることから、拠点商業地にふさわしい市街地形成の誘導を図っていく必要がある。 戸田公園駅西口駅前地区については、地区の将来像や目標を定めたことにより、今後は構想の実現に向け、具体的なまちづくりの手法を検討していく必要がある。	対応策	戸田駅東口駅前地区については、区画整理事業の進捗に合わせて、まちの将来像や方針となる地区まちづくり構想やまちづくりに係るルールを地区住民等と協働し検討していく。 北戸田駅及び戸田駅西口駅前地区については、地区まちづくり協定を運用し、拠点商業地にふさわしい市街地形成の誘導を進めていく。 戸田公園駅西口駅前地区については、中心拠点にふさわしい賑わいの創出を目指し、引き続き、地区住民等と協働しながら、まちづくりに係るルールの検討を進めていく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	北戸田駅及び戸田駅西口駅前地区については、協定の確実な運用により、届出全てを適合させることができた。戸田公園駅西口駅前地区については、まちの将来像や方針となるまちづくり構想の策定を行い、まちづくりの方向性を地区住民等と共有できた。
B		
今後の方向性（人員/予算） (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	北戸田駅及び戸田駅西口駅前地区については、協定の運用を継続する。戸田公園駅西口駅前地区についてはまちづくり構想に基づき、まちづくりに係るルールの検討を地区住民等と共に進める。令和3年度には、様々な協議が必要となるパリアフリー基本構想を策定することから、人員、予算については現状維持とする。
→		

(評価者コメント)

地区まちづくり協定の確実な運用を継続し、駅前地区にふさわしい良好な市街地形成の誘導を図る。戸田公園駅西口駅前地区については、まちづくり構想に基づき、まちづくりに係るルールの検討を地区住民等との協働により進める。 市内3駅周辺を中心とする移動等円滑化促進方針の策定については、各施設設置管理者のほか、高齢者や障がい者等の多様な主体と十分に協議し、検討を進める。
--

